

## 群馬県立図書館活用パートナーシップ事業イベント みやま文庫特別講演会

### 「いま、前橋空襲を語る 次世代へつなぐ戦禍の記憶」を開催します

群馬県立図書館では、県内で活動する団体と図書館が連携・協働することにより、県民の社会教育活動の推進を図ることを目的に、県立図書館活用パートナーシップ事業を実施しています。

このたび、みやま文庫主催により、標記イベントを開催します。

#### 記

- 1 日 時 令和8年1月24日（土）13時30分～15時30分
- 2 会 場 群馬県立図書館 3階ホール （前橋市日吉町1-9-1）
- 3 講演内容 「わたしの前橋空襲体験」  
講師：原田 恒弘氏 （元あたご歴史資料館 学芸員）  
「進駐軍が撮影した瓦礫の街」  
講師：田名網 雅久氏 （元あたご歴史資料館 調査員）  
「前橋はなぜ、狙われたのか」  
講師：菊池 実 （戦争遺跡保存全国ネットワーク 共同代表）
- 4 定 員 等 100名
- 5 参 加 費 無料
- 6 参加方法 別添のチラシを御参照ください。
- 7 主 催 みやま文庫
- 8 問合せ先 みやま文庫事務局 電話：027-232-4241 電子メール：miyama\_hf@yahoo.co.jp
- 9 そ の 他 詳細は、別添のチラシを御参照ください。

#### 【群馬県立図書館活用パートナーシップ事業とは】

講演会、講習会などジャンル・形式等を問わず、県立図書館と協働することで県民の社会教育活動の推進に寄与する団体からの事業提案を募集し、採択された事業に対して、県立図書館の蔵書、ホール等の施設・設備を提供するとともに、広報のサポートを行う事業です。



みやま文庫特別講演会

# いま、前橋空襲を語る

## 次世代へつなぐ戦禍の記憶

2026年

1月24日(土)

13:30~15:30

### 前橋空襲とは

1945年(昭和20年)8月5日から翌6日にかけて、米空軍のB29爆撃機92機が前橋市域および周辺地域を空爆した。市街地は42%が破壊され、死者535人、負傷者600人以上の大惨禍となった。

みやま文庫の最新刊『前橋空襲80年』(第254巻)の刊行を記念して、著者による講演会を開催します。多くの死傷者が出た防空壕から奇跡の生還を果たした原田氏、米軍撮影の瓦礫の山と化した市街の写真を分析した田名網氏、戦史研究者の菊池氏の3氏に、前橋空襲のリアルな姿について語っていただきます。

<会場> 群馬県立図書館3階ホール (前橋市日吉町1-9-1)

<主催> みやま文庫 <入場料> 無料

<定員> 100人 ※ご来場の際は、旧群馬県民会館北側駐車場をご利用下さい。

### ■『前橋空襲80年』著者による講演

**わたしの前橋空襲体験** 講師／原田 恒弘 (元あたご歴史資料館 学芸員)

男は一人の子どもを抱えて、壕から出てきた。ぐったりとして、呼吸の気配もない子ども。これが今の私なのだ。

**進駐軍が撮影した瓦礫の街** 講師／田名網 雅久 (元あたご歴史資料館 調査員)

**前橋はなぜ、狙われたのか** 講師／菊池 実 (戦争遺跡保存全国ネットワーク 共同代表)



みやま文庫第254巻  
『前橋空襲80年』

